



2018年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年1月25日

上場会社名 株式会社 富士通ゼネラル

上場取引所 東

コード番号 6755 URL <http://www.fujitsu-general.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤悦郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 加納俊男

TEL 044-861-7627

四半期報告書提出予定日 2018年2月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	168,064	△3.1	7,930	△50.2	8,119	△43.6	5,507	100.1
2017年3月期第3四半期	173,394	△11.9	15,938	△4.2	14,407	△12.6	2,752	△75.6

(注)包括利益 2018年3月期第3四半期 9,021百万円 (151.8%) 2017年3月期第3四半期 3,583百万円 (△55.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	52.64	—
2017年3月期第3四半期	26.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	195,200	102,286	50.6
2017年3月期	193,949	95,694	47.8

(参考)自己資本 2018年3月期第3四半期 98,743百万円 2017年3月期 92,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2018年3月期	—	12.00	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	3.8	20,500	△22.6	20,000	△16.5	14,000	39.6	133.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2018年3月期3Q	109,277,299 株	2017年3月期	109,277,299 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2018年3月期3Q	4,650,052 株	2017年3月期	4,649,858 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2018年3月期3Q	104,627,317 株	2017年3月期3Q	104,630,901 株
------------	---------------	------------	---------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 2017年10月25日に公表いたしました連結業績予想を本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年12月31日まで）におきましては、空調機部門では、中華圏、オセアニア、北米向け等の販売が伸長しましたが、中東、アジア向け等の販売減により、売上は前年同期に比べ減少しました。情報通信・電子デバイス部門では、電子デバイスの販売は増加しましたが、情報通信システムの商談減の影響が大きく、売上が減少しました。これらの結果、連結売上高は1,680億6千4百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

損益につきましては、空調機において、素材価格の上昇や急激な部品価格の高騰に加え、中東、アジア向けの販売物量減の影響により、営業利益は79億3千万円（同50.2%減）、経常利益は81億1千9百万円（同43.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に計上した特別損失がなくなり、55億7百万円（同100.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<空調機部門>

空調機部門の売上は、中華圏、オセアニア、北米向け等の販売が伸長しましたが、中東、アジア向け等の販売減により、売上高は1,504億7千4百万円（同3.2%減）となりました。営業利益は、素材価格の上昇や急激な部品価格の高騰に加え、中東、アジア向けの販売物量減の影響により、71億3千4百万円（同53.3%減）となりました。

[海外向け]

売上高は、1,097億9千7百万円（同2.8%減）となりました。

米州では、ブラジルでの天候不順による市況低迷などの影響を受けましたが、北米において、エアコンの需要が堅調に拡大するなか、主力のルームエアコンのほかラインアップを強化した小型マルチエアコンの販売も伸長し、売上が増加しました。

欧州では、フランス、英国向けなどのルームエアコンの販売が堅調に推移するとともに、ATW（ヒートポンプ式温水暖房システム）やVRF（ビル用マルチエアコン）でも新機種投入効果などから販売が伸長しましたが、前年度上半期の出荷が高水準であったスペイン向けの販売減の影響により、売上は微増となりました。

中東・アフリカでは、アラブ首長国連邦向けの販売は増加しましたが、経済のマイナス成長が続くサウジアラビアをはじめ現地市場における消費が総じて低迷していることから、地域全体の売上は減少しました。

オセアニアでは、オーストラリアにおける堅調な需要を背景に、販路開拓の取り組みを進めている専門店ルートに加え量販店ルートの販売も伸長し、売上が増加しました。

アジアでは、インド向けにおいて、市場拡大を背景に現地販売は前年同期を上回ったものの、本年1月の省エネ規制強化に対応した機種の本格的な出荷を第4四半期に控え、従来機種の出荷を調整したことから、売上は減少しました。

中華圏では、中国の市況が回復傾向にあるなか、VRFにおいて、小売りルートの販売強化に加えプロジェクト案件の増加により販売が伸長するとともに、ルームエアコンの販売も堅調に推移しました。また、台湾向けの販売も量販店向けを中心に伸長し、地域全体での売上が増加しました。

なお、今後の各地域における業務用空調機の販売拡大に向け、昨年11月、イタリアの空調機器メーカーG. I. Holding S. p. A. 社と包括提携に向けて基本合意し、ラインアップ強化を進めてまいります。また、米国の換気機器メーカーVentacity Systems Inc. 社との提携により、当社製VRFと当社製換気機器を連携させ最適制御を行う高効率の空調システムを本年1月に発売し、今後も商品力強化に向けた共同開発などを進めてまいります。

[国内向け]

売上高は、406億7千6百万円（同4.2%減）となりました。

新規顧客開拓を進めている住宅設備ルートの販売は堅調に推移しましたが、量販店ルートにおいて、夏期の東日本における天候不順とそれに伴う流通在庫調整の影響を受け、売上は前年同期を下回りました。なお、業界初の「熱交換器加熱除菌」機能を搭載し、エアコン内部の清潔性を高めた最上位機種「ノクリア」Xシリーズの新型を昨年11月に発売し、好調な立ち上がりを見せております。

<情報通信・電子デバイス部門>

情報通信・電子デバイス部門では、電子デバイスの販売は増加しましたが、情報通信システムの商談減の影響が大きく、売上は164億2千6百万円（同2.7%減）、営業利益は5億6千万円（同28.8%減）となりました。

[情報通信システム]

売上高は、64億4千9百万円（同22.8%減）となりました。

公共システムにおける納入済システムの保守・ストックビジネスや民需システムの売上は前年同期を上回りましたが、消防・防災システムの更新案件減少の影響により、全体での売上は減少しました。

〔電子デバイス〕

売上高は、99億7千6百万円（同17.0%増）となりました。

自動車運転時の安全対策への関心の高まりなどから、車載用カメラの販売が伸長するとともに、企業の設備投資需要の増加に伴い、産業用ロボット向けを中心とした電子部品・ユニット製造の販売が堅調に推移し、売上が増加しました。

<その他部門>

売上高は11億6千3百万円（同8.0%増）、営業利益は2億3千6百万円（前年同期は1億9百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末（以下、当第3四半期末）の総資産につきましては、売上債権の回収に伴い受取手形及び売掛金は減少しましたが、たな卸資産等が増加したため、前連結会計年度末比（以下、前年度末比）12億5千万円増加し、1,952億円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金ならびに未払法人税等の減少等により、前年度末比53億4千1百万円減少し、929億1千4百万円となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定の増加および親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前年度末比65億9千1百万円増加し、1,022億8千6百万円となりました。

この結果、当第3四半期末の自己資本比率は2.8%増加し、50.6%（前連結会計年度末は47.8%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間（以下、当期間）の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益の計上等により、89億6千9百万円の収入（前年同期は245億8千5百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、開発・生産設備、ITシステム等への投資および米国の換気機器メーカーVentacity Systems Inc.社への出資等により、44億4千6百万円の支出（同43億4千2百万円の支出）となりました。この結果、当期間のフリー・キャッシュ・フローは45億2千2百万円の黒字（同202億4千2百万円の黒字）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により、28億8千5百万円の支出（同28億3千7百万円の支出）となりました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は、前年度末比19億2千5百万円増加し、427億1千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、空調機において、現地販売が堅調に推移している欧州やオセアニア向けの出荷上積みが見込まれる一方、中東、ブラジルの市況が想定以上に落ち込んでいることや、インド向けの出荷計画を見直したことなどから、売上高は2,700億円（前回予想は2,800億円）となる見込みです。

損益につきましては、全社的なコストダウンや費用効率向上の取り組みを進めていますが、売上予想の見直しに加え、素材・部品価格の高騰や生産地国通貨高などコスト環境が想定以上に厳しい状況で推移していることから、営業利益は205億円（前回予想は230億円）、経常利益は200億円（同230億円）、親会社株主に帰属する当期純利益は140億円（同160億円）となる見込みです。

連結業績予想

（単位：百万円）

	2017年3月期 通期 (実績)	2018年3月期 通期 前回(10/25)発表予想	2018年3月期 通期 今回修正予想	増減額
売上高	260,054	280,000	270,000	△10,000
営業利益	26,490	23,000	20,500	△2,500
経常利益	23,960	23,000	20,000	△3,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,031	16,000	14,000	△2,000

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,789	42,715
受取手形及び売掛金	71,373	50,367
商品及び製品	17,886	29,501
仕掛品	1,046	1,568
原材料及び貯蔵品	4,423	5,260
繰延税金資産	3,132	3,233
その他	7,187	11,490
貸倒引当金	△331	△327
流動資産合計	145,507	143,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,877	27,100
機械装置及び運搬具	32,841	34,867
工具、器具及び備品	17,936	20,263
土地	9,095	9,095
建設仮勘定	416	635
減価償却累計額	△52,289	△56,547
有形固定資産合計	33,879	35,414
無形固定資産		
その他	2,675	2,658
無形固定資産合計	2,675	2,658
投資その他の資産		
投資有価証券	4,889	6,711
繰延税金資産	6,096	5,895
その他	918	725
貸倒引当金	△17	△15
投資その他の資産合計	11,886	13,317
固定資産合計	48,442	51,390
資産合計	193,949	195,200

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,686	37,114
未払法人税等	3,882	1,364
未払費用	16,565	14,572
製品保証引当金	3,703	3,631
独禁法関連引当金	7,975	7,925
その他	8,752	8,211
流動負債合計	78,565	72,819
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,409	2,409
退職給付に係る負債	15,725	16,141
その他	1,555	1,542
固定負債合計	19,689	20,094
負債合計	98,255	92,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,089	18,089
資本剰余金	530	530
利益剰余金	75,565	78,666
自己株式	△5,043	△5,043
株主資本合計	89,141	92,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	749	1,539
土地再評価差額金	4,858	4,858
為替換算調整勘定	△1,480	531
退職給付に係る調整累計額	△476	△428
その他の包括利益累計額合計	3,651	6,501
非支配株主持分	2,900	3,542
純資産合計	95,694	102,286
負債純資産合計	193,949	195,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上高	173,394	168,064
売上原価	122,268	122,746
売上総利益	51,125	45,318
販売費及び一般管理費	35,187	37,387
営業利益	15,938	7,930
営業外収益		
受取利息	51	54
受取配当金	66	72
持分法による投資利益	369	310
為替差益	—	261
その他	249	210
営業外収益合計	735	910
営業外費用		
支払利息	32	4
為替差損	2,044	—
事業構造改善費用	—	520
その他	189	197
営業外費用合計	2,266	721
経常利益	14,407	8,119
特別損失		
独禁法関連引当金繰入額	7,975	—
特別損失合計	7,975	—
税金等調整前四半期純利益	6,432	8,119
法人税、住民税及び事業税	3,450	2,281
法人税等調整額	△153	△219
法人税等合計	3,296	2,062
四半期純利益	3,135	6,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	383	549
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,752	5,507

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	3,135	6,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	201	789
繰延ヘッジ損益	112	—
為替換算調整勘定	167	2,055
退職給付に係る調整額	29	48
持分法適用会社に対する持分相当額	△64	71
その他の包括利益合計	447	2,964
四半期包括利益	3,583	9,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,228	8,357
非支配株主に係る四半期包括利益	354	664

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,432	8,119
減価償却費	4,171	3,763
引当金の増減額 (△は減少)	7,838	△312
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	81	446
受取利息及び受取配当金	△117	△127
支払利息	32	4
売上債権の増減額 (△は増加)	26,805	23,800
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,028	△11,888
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,574	△3,016
その他	△3,625	△7,459
小計	31,014	13,330
利息及び配当金の受取額	117	127
利息の支払額	△32	△5
法人税等の支払額	△6,514	△4,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,585	8,969
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,932	△3,983
有形固定資産の売却による収入	0	35
その他	△409	△498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,342	△4,446
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,298	△2,396
その他	△538	△488
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,837	△2,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	319	288
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,724	1,925
現金及び現金同等物の期首残高	21,604	40,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,329	42,715

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	155,433	16,883	172,317	1,077	173,394
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	664	664	204	868
計	155,433	17,547	172,981	1,281	174,262
セグメント利益又は損失(△)	15,261	786	16,047	△109	15,938

(注) 部門別の主要な製品等は次のとおりであります。

部 門	主要な製品、システム、サービス
空 調 機	エアコン、VRF(ビル用マルチエアコン)、ATW(ヒートポンプ式温水暖房システム)、空調関連商品
情 報 通 信 ・ 電 子 デ バ イ ス	消防システム、防災システム、POSシステム、映像システム、車載カメラ、電子部品、ユニット製品
そ の 他	家電製品のリサイクル 電磁波障害に関する測定及びコンサルティング等

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	16,047
「その他」の区分の損失(△)	△109
四半期連結損益計算書の営業利益	15,938

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	150,474	16,426	166,900	1,163	168,064
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	410	410	192	602
計	150,474	16,836	167,311	1,356	168,667
セグメント利益	7,134	560	7,694	236	7,930

(注) 部門別の主要な製品等は次のとおりであります。

部 門	主 要 な 製 品、シ ス テ ム、サ ー ビ ス
空 調 機	エアコン、VRF（ビル用マルチエアコン）、 ATW（ヒートポンプ式温水暖房システム）、 空調関連商品
情 報 通 信 ・ 電 子 デ バ イ ス	消防システム、防災システム、POSシステム、映像システム、 車載カメラ、電子部品、ユニット製品
そ の 他	家電製品のリサイクル 電磁波障害に関する測定及びコンサルティング等

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,694
「その他」の区分の利益	236
四半期連結損益計算書の営業利益	7,930